

事務事業名		小中学校適正配置推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり					担当係	適正配置推進係		担当課長名	吉田重弥
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 小中学校の適正配置の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	12445	一般	10	1	2	小中学校適正配置推進事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H25年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		計画策定・管理事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		2-4			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)						
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)				
近年の少子化の進行などにより、市立小中学校の児童生徒数は減少を続け、佐野市立小中学校適正配置等検討委員会からの答申による標準規模の割合は、平成24年度で47%となっている。また、極端に児童数が少ない、複式学級を抱える小学校も増加している。こうした状況を鑑み、地域や保護者の意見を十分配慮しながら、小中学校の適正規模・適正配置を進めるための基本計画、実施計画を策定し、児童生徒のためよりよい教育環境を整備する。		佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)について、懇談会を市内全小学校区22か所において懇談会を開催した。(6月24日～8月26日) 佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(案)に関するパブリックコメントを実施した。(11月10日～12月12日) 教育委員会定例会において佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画を決定した。(1月27日)				
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		懇談会(説明会)開催回数	回	20	22	16
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)						
市立小中学校		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		市立小学校数	校	27	27	27
		市立中学校数	校	10	10	9
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)						
目的		佐野市における適正な規模の小中学校及び適正配置の在り方を示す。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)
			適正範囲規模の小中学校数	校	17	17
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)						
適正な学校規模、配置となっている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
		策定した小中学校適正配置等基本計画の数	件	-	1	-
		計画の進捗率	%	-	5.0	10.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	0	66	374							
	事業費計(A)	千円	0	66	374	0	0					
事業費の内訳	千円	旅費	9	報償費	4							
		需用費	57	需用費	109							
				賞借料	318							
人件費	人	2	2	2								
のべ業務時間	時間	1,792	1,792	2,688								
人件費計(B)	千円	6,973	7,062	10,593	0	0						
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,973	7,128	10,967	0	0						

事務事業名	小中学校適正配置推進事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	適正配置推進係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	近年の少子化の進行により、佐野市の児童生徒数は減少し、学校の小規模化が進んでいる。また、複式学級を抱える学校が6校になり、学校間の異なる規模等の教育環境は、子どもたちの豊かな教育を育む上で様々な影響を及ぼし、教育環境の整備充実が求められている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	小規模な学校は、今後、益々小規模化が進行し、学校運営が難しくなっていくものと思われる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会一般質問で数名の議員から小中学校の適正配置及び小中一貫教育についての質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 小中学校適正配置の検討は、子どもたちの学習環境の改善となり教育の機会均等につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 市立小中学校の設置者は市であり、学校運営は教育委員会の権限によるもので、民間には委ねられない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 市立小中学校全てにおいて、適正な規模や配置等について検討するものであるため、対象と意図は妥当と考える。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 小中学校適正配置を進めるうえで、基本計画、実施計画を作成する段階である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	小中学校の適正配置等が終了した時。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	